

没後 70 年

もりむらとりぞう

森村酉三とその時代

2019年9月21日(土)～11月10日(日)



森村酉三

ちゅうどうほうおうこうろ
《鑄銅鳳凰香炉》1929年

個人蔵

◎ 森村酉三とは？

1897（明治30）年、佐波郡宮郷村連取（現・伊勢崎市）に生まれた鑄金工芸家です。高崎の白衣大観音（昭和11年建立）の原型を作った人としても知られています。

1918（大正7）年、東京美術学校（現・東京藝術大学）に入学して鑄金を学び、在学中から花瓶や燭台を展覧会に出品して才能を開花させます。卒業後、結婚して池袋に住み、帝展や新文展に鳥や兔の置物を数多く出品しました。

故郷からの注文制作も相次ぎました。名門、森村家の後援により、名士の胸像や、戦争中には軍人の像、初代高崎市長《矢島八郎翁像》などを制作しています。1930（昭和5）年には、県庁向かいの群馬会館入り口に高さ約137cmの《新田義貞像》が建てられました。しかしこれらの像は、戦争中に金属供出され、ほとんどが残っていません。

戦争が激しくなった1944（昭和19）年、郷里伊勢崎に疎開します。県内の展覧会の審査員などをおして群馬の美術界にも貢献していた森村のまわりには、地元的美術家たちが集まったといえます。

戦後の活躍が期待されていましたが、病に倒れ、1949（昭和24）年、52歳で生涯を閉じました。

◎ どんな作品を作ったの？

東京美術学校で学んだ技術を生かし、草花文で飾られた花瓶を制作。人物の胸像では、穏やかな写実表現により、モデルの在りし日の姿が偲ばれる作品を多く制作しました。また当時、都市部沿線を中心に「文化住宅」と

呼ばれる和洋折衷の住宅が建てられ始めると、床の間にも洋風な室内空間にも対応するモダンな置物が求められました。森村はこうした時代の要請を背景に、動物の置物を制作しました。これらを帝展に出品したほか、故郷での展覧会や頒布会にも出品しています。



①



②



③



④



⑤



⑦



⑧



⑥

作者：森村西三 作品：①《ペリカンぎんこうろ銀香炉》1928年、②《ちゅうどううさぎおきもの鑄銅兎置物》1940年、③《すいどうきょうようせん水道共用栓（りゅうとう龍頭）》1929年 前橋市水道局、④《にっつよしきだ新田義貞像》1937・40年、⑤《ステッキ・兎》1941年 ⑥《みみずく》、⑦《いごもようちゅうどうかびん母模様鑄銅花瓶》⑧《ちゅうどうなまざおきもの鑄銅鯰置物》1948年 伊勢崎市教育委員会蔵 ※所蔵のないものはいずれも個人蔵

◎ほかの人の作品もあるの？

森村西三が作った動物の置物には、東京美術学校の師、津田信夫の影響や、高村豊周など同時代に工芸の革新を目指した鑄金家たちの「構成派風」と呼ばれた作品の影響などが指摘されています。この展覧会では、同時代に東京の展覧会で活躍した作家の作品も展示して、森村が生きた時代の鑄金界のようすをご紹介します。

また、森村西三の妻としてその制作を助け、森村が亡くなってからは自ら花瓶を制作して群馬県展に出品するなど、夫の遺志を継いだ寿々夫人の作品も併せて展示します。

展覧会名	没後 70 年 森村西三とその時代
会 期	2019 年 9 月 21 日(土)～11 月 10 日(日)
開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時(入館は 4 時 30 分まで)
休 館 日	月曜日(9 月 23 日、10 月 14 日、28 日、11 月 4 日は開館)、9 月 24 日、10 月 15 日、11 月 5 日(火)
観 覧 料	一般 820(650)円、大高生 410(320)円 *()内は 20 名以上の団体割引料金 *中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者 1 名、群馬県民の日(10 月 28 日)に観覧される方は無料
主 催	群馬県立近代美術館
協 力	千葉県立美術館
後 援	高崎市、伊勢崎市、伊勢崎市教育委員会
関連事業	○シンポジウム・講演会 ・シンポジウム:高崎白衣大観音の謎に迫る 9/29(日) 登壇者:手島仁(前橋学センター長・森村西三・寿々研究者)、塚越透(井上保三郎、房一郎研究者・元井上工業職員)、田口正美(群馬歴史散歩の会編集委員・元小学校長)、神尾玲子(当館学芸員) ・講演会:鑄物師か?鑄金家か?—彫像作品制作をめぐって 10/6(日) 講師:本橋浩介(佐倉市立美術館学芸員) ・講演会:森村西三の生きた時代—津田信夫と依頼制作 10/14(月・祝) 講師:中松れい(千葉県立美術館学芸課長) ※各日とも 14:00～15:30 当館 2 階講堂 申込不要・聴講無料(先着 200 名) ○学芸員による作品解説会 10/23(水)、11/2(土) 14:00～15:00 申込不要・要観覧料
担当者/連絡先	群馬県立近代美術館 学芸員 神尾玲子 kamio-r@pref.gunma.lg.jp 〒370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1 Tel.027-346-5560 Fax.027-346-4064 http://mmag.pref.gunma.jp/

※画像をお使いになる方は美術館までお問い合わせください。 撮影者:長塚秀人